



3月号

三木高大

自治会新聞

発行 三木市高齢者大学学生自治会

発行責任者 自治会会長 三木 清

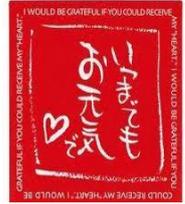
編集担当者 4年1班 岸下 保

発行日 平成27年3月10日

No. 109



卒業生に贈る言葉



ご卒業おめでとうございます



早や、皆さんとお別れをする時が近づいてまいりました。

卒業式を間近にされた今では早かったな、あっという間に過ぎてしもうたな。でも楽しかった。また会おうな」こんな会話が交わされていることでしょう。

先輩方の4年間の取り組みは素晴らしいものがありました。自治会運営、五大大行事の企画実行、各クラブ活動、地域ボランティア活動への参画など、多大のご活躍をされました。昨年の体育祭の競技部門の優勝と応援合戦の「みずほ

大賞」のダブル受賞は見事であり、皆さん方の絆の強さをまざまざと見せつけられ感服いたしました。

私達は、先輩方が残された数々の行跡を汚すことのないよう、大学の更なる発展に力を合わせて全力で取り組むことをお約束いたします。

どうか卒業された後も、大学で得られた知識と経験を生かしてご活躍ください。ご健康に留意され、心豊かに、日々お暮しになりますようお願い申し上げます。贈る言葉と致します。

自治会副会長 3年2班 岩波 勉



高大の思い出



卒業する日が近づくにつれ、充実感と寂しさが日増しに高まっています。

教養課程講座の体育館では寒い暑いのと辛抱がなく、居眠りは、すぐするし面白いと大声でガハハ笑い、皆で聞くと反応を共有できてワクワクでした。私にはこんな雰囲気や聞きっぱなしでいい気楽さがなによりでした。ひとつだけ残念なことは、入学願書にある子育て支援講座も聞いてみたかったな～と思いました。

ところで4年生の皆さん、溜まりたまった写真はどうしていますか。アルバム作りはいかが？集合写真やスナップ写真となかなか収まりが悪いけれど、学年順に綴り、旅のしおりや料理の写真、土産のレシートなどを利用するといいですよ。一言メッセージが有るとなおよし！学年を問わず多くの人とお知り合いになり楽しくて休まず出席できました、有難うございました。お世話になった先生方にもお礼申し上げます。

4年1班 津田美喜子

2月21日（土）、22日（日）に第23回大学祭が開催された。天候は21日は何とかもったものの、22日は朝から小雨模様、校庭の駐車場もちょっとぬかるみでしたが、駐車場係の人達の誘導で大勢の来場者にもしっかりと対応していただきました。

22日は記念式典の後、演芸部門は大道芸を皮切りに一年間打ち込み、積み重ねた成果を晴れの舞台上で素晴らしい演技を発表されました。

お昼前には薮本名誉学長も特別出演され、ステージから飛び降りての熱演で会場は最高潮に達しました。

展示会場では、出展いただいた各クラブのお互いの作品に触れ、驚愕したり、褒め称え

あたりと和やかな光景があちこちで見られました。

また、運動関係クラブ、自治会活動、大学、大学院、学友会等の活動状況を解りや



すく紹介した展示パネルの数々、昨年より自治会で設営することとしましたコーヒー喫茶コーナーも大盛況でウェイトレスのお姉さま方も上品さは

保ちながらも忙しく動いておられました。

楽しい大学祭の開催にご尽力いただきました各クラブの皆さん、自治会役員、大学祭実行委員、準備委員、大学事務局の皆様には厚くお礼申し上げます。

専門講座だより

『郷土史学科はこういうことを学んでいます』

郷土史学科は高大一の人気学科で、78名が三木市とその周辺の古墳時代から近代までの歴史を学んでいます。

三木には寝に帰るだけの壮年期を過ごした者には、志染に弘計(顕宗天皇)、億計(仁賢天皇)の二皇子が隠れ住んだとか、古墳の出土品が数多くあるとか聴いて、郷土の歴史の古さに驚き、無知を恥じる時でもあります。

今年度は、市文化財保護審議委員の宮田逸民先生から三木城攻防における人物像や付城の所在・構造を、また我々の大先輩である中島元亮先生から郷土探訪と題して吉川から別所までの全地区の歴史や地名の謂れ、各所に残る名所旧跡等を学びました。

これらは登校日の座学ですが、より身近に実感すべく年に一度は校外で直に歴史に触れる研修も行います。

昨年11月には城郭研究の第一人者である宮田先生に同行頂き、国史跡の洲本城跡や淡路市立淡路文化資料館等を訪問して、淡路は、庚午事変(稲田騒動)が無ければ徳島県だった等、淡路について学びました。

郷土の歴史を通じて知識を豊かにし、その地の人物を知ることによって郷土への愛着が増し、ひいては三木市発展の一助になる学科だと思えます。



洲本城跡にて

3年1班 山内 公昭

2月の教養講座だより



講師：ひょうごラジオカレッジ
学科主任 肥田 均 様

『『神』の誕生と中東』

この度は、世界の著名な三大宗教の誕生とその中東における影響のお話でした。ユダヤ教、キ



リスト教、イスラム教は、全て一神教であり、自分の信じる宗教・宗派以外はそれを認めないということである。また一方で、共にアブラハムを教えの先祖としていることもあり、同じ「神」ということだとも考えられている。イスラム教の特徴は、偶像の崇拝はしないことと、宗教指導者が、国の指導者になり得ることです。エルサレムは三つの一神教が共存する聖地であり、国際

的な宗教都市です。近代中東の紛争・戦争は、三つに分類される。Ⅰ、「イギリスの三枚舌」に象徴される欧州帝国主義による、中東分割。Ⅱ、イスラエル建国に関するパレスチナ戦争。Ⅲ、石油資源が前面に出てきた、湾岸戦争そしてこの度の所謂「イスラム国」問題は、シリアの内戦とイラクのスンニ・シーアの対立に乗じたクルアーン(コーラン)を奉じ、カリフを名乗るバグダディ(イラク人)指導による集団テロ事件である。そして日本人の犠牲者が出た。日本も危機管理の確立、インテリジェンスの深化、果敢な積極外交が求められる。

3年5班 片岡 絃一

クラブ紹介

民謡踊りクラブ



平成18年に創部された民謡踊りクラブは、若柳有利先生のご指導を受けて、第2金曜日と第4金曜日に市民活動センターで練習をしています。

昨年より大学祭に向けて黒田節、江刺甚句、隠岐しげさ節の3曲を練習してきましたが、先生にとっても丁寧に教えて頂いたお蔭で皆様の前で踊る事が出来たと思っています。部活動としては、大学祭、カラオケ発表会友情出演、みっきい夏まつりの盆踊り参加、老人介護施設の誕生会出演など、楽しみながら行っています。

日本民謡は日本各地で、庶民の間に歌い継がれてきました。古くから人々の心の中にあつた日本民謡は、どこか私達の心を打つものがあります。その人々の心情を少しでも表現出来たらと思っています。民謡踊りは、初心者の方でも踊れます。とても楽しいですよ。私達と一緒に踊りましょう。

民謡踊りクラブ部長 4年4班 山口 直江



大道芸クラブ



当クラブは、創部14年になります。基本は南京玉すだれと皿回しです。そのほか日々新しい演目を取り入れて練習に励んでいます。玉すだれは、56本の玉を操る鮮やかな手さばきが見せ場になります。皿回しは、子供から大人まで誰もが笑顔になる魔法の皿です。26年度の活動内容としては、三木市60周年記念みっきい夏まつり他ステージ出演6回、ボランティア活動としては、三木市内の施設を30回位訪問させて頂きました。皆様の笑顔に触れるのが部員たちの何よりの喜びです。学びの郷みずほでは、子供たちと皿回しや銭太鼓等で大人も子供も大いに盛り上がりました。部員数11名。練習日は登校日

の午後3時から午後4時30分まで研修室5で行っています。興味のある方は是非！練習風景を見に来て下さい。

大道芸クラブ部長
2年4班 谷口恵美子



自治会新聞は、三木市高齢者大学ホームページ【<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>】からもご覧いただけます。